

龍馬と学ぼう

日商簿記2級

日商簿記2級フリーテキスト講座

＜商業簿記3＞ 有価証券

全8枚



弥生カレッジCMCのフリーテキスト講座（無料動画で公開中）

1. 売買目的有価証券（3級の復習）

次の問題を解いてください。

売買を目的とする額面 1,000,000 円の CMC 商事の社債を 100 円につき 95 円で購入し、代金は証券会社への手数料 5,000 円とともに小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は 800,000 円であるが、借越し限度額 500,000 円の当座借越契約を結んでいる。

だいじょうぶでしょうか。

価値の有る証券（紙）なので、有価証券なんですね。

会計の世界では、最終的には利害関係者に財務諸表を開示する事が重要で、手持ちの有価証券に関しては、どんな目的でもっているかによって期末に決定する（期末評価といいます）金額がかわってきます。

すぐに売る目的だから売買目的有価証券といいます。

3級では売買目的有価証券のみ扱うので上記の仕訳は

売買目的有価証券 955,000 / 当座預金 800,000
当座借越 155,000

となります

さらに、問題は続きます

決算につき、先に購入した売買目的の有価証券を評価替えする。
決算日の価格（時価）は 100 円につき 97 円であった。

955,000 円の価値が 970,000 円の価値になった訳ですね

売買目的有価証券 15,000 / 有価証券評価益 15,000

2. 満期保有目的債権

さきほどの問題のように社債を売買目的で購入する事もあります。

ただ、満期まで保有する目的で購入する事もあります。

財務諸表は投資家にとって有用である必要があるので、売買目的有価証券は時価で表示する必要がありますが、満期保有目的なら「すぐに売る訳ではない」ので取得原価または下記の償却原価法で評価します。

金融商品に関する会計基準：満期まで所有する意図をもって保有する社債その他の債権は取得原価をもって貸借対照表価額とする。ただし、債権を債権金額より低い価額又は高い価額で取得した場合において、取得価額と債権金額との差額の性格が金利の調整と認められるときは、**償却原価法に基づいて算定された価額**をもって貸借対照表価額としなければならない。

なんか難しいですね。

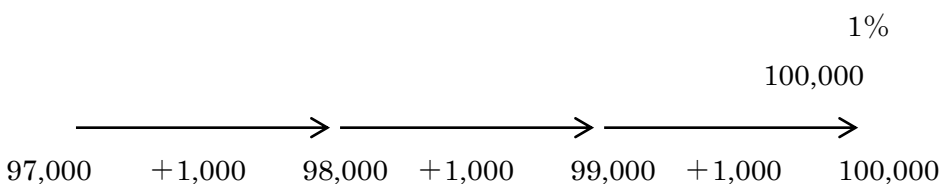
こういう意味です。

①×4年4月1日にCMC社の社債（額面金額100,000円、満期日は×7年3月末日）を100円につき96円で購入し、代金は手数料1,000円と共に現金で支払った。なお額面金利は1%であり、利払いは3月末日である。取得価額と債権金額との差額の性格が金利の調整と認められる。

後半の文章は少し難しいですが、前半は簡単ですね。科目が変わるだけです。

満期保有目的債権 97,000 / 現金 97,000

②×5年3月31日決算において、償却原価法（定額法）により評価する。なお、金利の受取の処理もあわせて行う。



額面金額より安く発行している（割引発行）。なぜでしょう。

社債には金利がついています。

1%・・・安いですね

銀行の金利が3%だったら。誰もCMC社の社債を買ってくれません。

なので、金利差の調整として額面金額を割引いて発行するのですね。

これは発行側の話です（社債の項目でまた登場します）。

購入者側は安い金利で買っているのので、3,000円のディスカウントに魅力を感じている訳ですね。結果的には97,000円に3年で3,000円の利息プレミアムがついている訳です。従って、この差額も金利収入と考えます。

仕訳は

まず通常の金利の受取（期限到来後の社債利札です・・・3級で学びました。現金扱いですね）

現金 1,000 / 有価証券利息 1,000

さらに金利調整分の処理です

現金 1,000 / 有価証券利息

としたいのですが、現金はもらってません。

という事は、もらえる権利として資産を増やす必要があります。

現金のかわりに満期保有目的債権を使用します。

∴ 満期保有目的債権 1,000 / 有価証券利息 1,000 となります

割引発行以外の発行方法

<平価発行・・・額面と同じ金額で発行

<打歩発行・・・額面よりも高い金額で発行
(ダフ屋をイメージして下さい)

試験ではほとんどが割引発行ですが、打歩発行でも処理できるようにしておいて下さい



打歩発行も確認しておいでや
す。本試験で初体験だと慌てるき
に・・・あら土佐弁が

3. 端数利息の処理

「端数利息は難しい」という声をよく聞きます。でも、有価証券を転売する立場で考えると、絶対にわかります。

<p style="text-align: center;">株式会社弥生トレーディング 無担保社債券</p> <p style="text-align: center;">¥1,000,000 金壹百万円 壹百万円</p> <p style="text-align: center;">利率 3%</p> <p style="text-align: center;">償還期間 2018年3月31日 利払日 3月末日</p> <p style="text-align: center;">東京都城西市弥生町1-8-15 株式会社弥生トレーディング 代表取締役 横山八重</p>		
株式会社弥生トレーディング 無担保社債券	株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金30,000円 2018年3月31日 5回	株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金30,000円 2017年3月31日 4回
株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金30,000円 2016年3月31日 3回	株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金30,000円 2015年3月31日 2回	株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金30,000円 2014年3月31日 1回

2013年の4月1日に発行された社債。これを石川遼さんが持っていました。

でも、石川さんが渡米する為に100万円必要だったので、2月28日にあなたに売ったとします。

この時の弥生トレーディングの社債の相場は99万だったとします。

11か月分は石川さんに金利をもらう権利がありますね。でも、社債利札を破ると無効になります。

という事は、あなたが石川さんに11か月分払って、3月31日に12か月分もらえばチャラですね。こういう発想です。ごく当たり前の事です。では例題を

松山商事は売買目的で保有している簿価1,000,000円の社債（利払日は年1回次の利払い日3月31日、年利7.3%）を2月1日に950,000円で端数利息とともに石川商店に現金で売却した。利息は日割り計算する。なお、1年は365日である。

<松山商事側>

2/1 現金 1,011,200 / 売買目的有価証券 1,000,000
有価証券売却損 50,000 / 有価証券利息 61,200

<石川商店側>

2/1 売買目的有価証券 950,000 / 現金 1,011,200
有価証券利息 61,200

3/31 現金 73,000 / 有価証券利息 73,000

結果的に73,000円の金利が306日分（松山）と59日分（石川）に按分されています。

<応用論点>

①洗替法と切放法

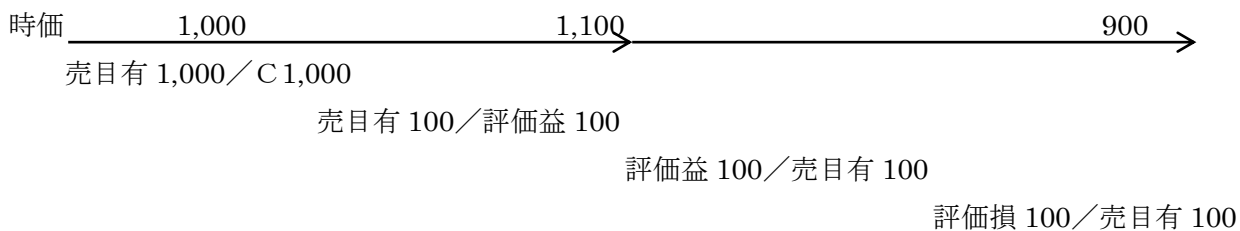
売買目的有価証券は本来「洗替方」が原則で、切放法は容認規定です。

でも、試験では切放し法が使われます。

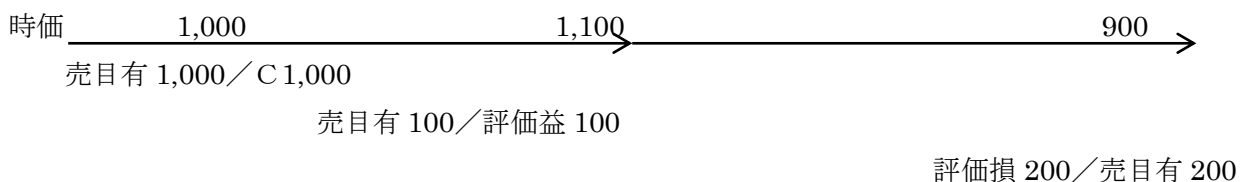
洗替方式は見越繰延と同じで、翌期首に逆仕訳を行う方法です

<例>

[洗替法]



[切放法]



どちらの場合でも第2期の損益に与えるインパクトは同じ（利益を200円減らす）

②複数回にわけて購入した時の計算方法

（移動平均法）税理士試験で総平均法が出たことがあるがこれはレアケース

商品在高帳の移動平均法と同じ計算です

4/1 @1,000円で100株購入 10,000円

4/10 @1,100円で100株購入 11,000円 平均単価 1,050円

4/15 50株を@1,000円で売却

現金 50,000 / 売買目的有価証券 52,500

有価証券売却損 500



●採用の決め手？

大学卒業後は日本信販（現在の三菱 UFJ ニコス）の子会社である近畿日本信販に入社した。入社後に総務部長から聞いた話です。

「横山君の履歴書は不採用側にあったんだよ。でも社長が、面白いからこいつも採っとけ」との事だったそうです。

面接の内容を再現します。

面接官「履歴書に(趣味)競馬・マーじゃんと書いてますが……何か学ばれましたか」

私「はい、競馬では14~5頭の馬から、最後に3頭に絞る必要があります。締切の時間と自分の財布を天秤にかけて、最後の1頭をどちらかに決めるという決断力を学びました」

面接官「では麻雀は」

私「はい、これは自分だけでなく、同じように勝ちを競っている相手3人との駆け引きを学びました。いくら自分が良い手でも、相手に上がられたらOUTです。自分の事だけでなく競争相手を常に意識する事を学びました」

今考えても、よくこんな言葉が出たもんだ、と感心します。でも担当の部長は「こいつは何考えてるんだ」と思っていたそうです。そして私の履歴書は不採用側に……

でも、ここでも強運。このおじさんは誰だろうと思っていた人が実は社長で、その人の「面白いから採っところ」で復活したそうです。

真偽のほどは定かではありませんが、その年の忘年会で面接を担当した部長から直接聞いた話です。

まじめな話です。競馬もマーじゃんも一生懸命やりました。私の性格は、先の展望よりも「目の前の事」にのめりこむタイプ。

目の前の事を一生懸命できない人に、先の展望を読む力はないと思います。将来志向も大事ですが、「目の前の事」大事だと思いませんか。



講師横山の著書

「弥生検定攻略テキスト」

コラムより抜粋